

# 庶

シヨ

11画 一 广 广 庶 庶 庶

なりたち 广(まだれ)と、鍋(こ)の形をかたどった廿と、火(ひ)の変形した心との会意字。家(いえ)の中で鍋を火にかけて「煮る」ことを表した字。音はシヨ。音が「諸」も同じなので、仮借(か)して「もろもろ」いろいろの意味。



いみじゆくこ

▼諸。もろもろ。いろいろ。庶民：一般民衆。衆庶：庶民。民衆。庶務：いろいろな務め。各種の事務。特に名目のない雑多な事務。庶政：各種の雑多な政務。諸政とも書く。▼正妻でない人が生んだ子。庶出：正妻でない人から生まれること。生まれた子を庶子という。

# 庶遮

# 遮

シヤ

14画 一 广 广 庶 庶 遮

なりたち 衆庶(多くの人民)の意味の庶と、道を進む意味の止(しんにょう)との会意形声字。進む道に多くの人がいて、道をさえぎっていることを表したものの「さえぎる」。転じて、「おおい隠す」こと。



いみじゆくこ

▼さえぎる。遮断：遮り断つこと。道を遮つて、通行を止めること。【用例】事故のため交通が一時的に遮断された。遮断機：鉄道の踏切の両側にあって、列車が通る時交通を遮断する開閉機。遮絶：遮り絶つこと。遮断。▼おおい隠す。遮蔽(しやく)：おおい隠すこと。「遮」は視野を遮つて見えなようにする意味。隠すこと。▼無理やり。遮二無二：遮りに無しの意味。遮る者があるが無かろうが、しようと思つたら状況を考えずにがむしゃらに押し通すこと。

# 唐

トウ

10画 一 广 广 唐 唐 唐

なりたち 杵(こ) (杵が本字)を両手に握った形の庚と、口との会意字。杵を振り下ろす時に口から発する掛け声を表した字。「トウ」という掛け声。転じて、「大言」の意味。地名。王朝名に用いられ、「中国」の代名詞に用いられる。



いみじゆくこ ▼杵(こ)を振り下ろす。つく。唐突：①突然。②突き当たる。「唐」も「突」も「つく」意味。▼大言。荒唐：すさまじい大言。でたらめな言葉。【例】荒唐無稽(ぼうとうむけい) (でたらめで根拠がないこと。)

▼王朝の名。遣唐使：わが国が唐王朝に派遣した使者。▼中国の代名詞。唐人：①江戸時代、中国人をさしたことば。また、広く外人のこと。②分からず屋。国人のこと。唐風：中国風。唐歌：中国の詩。漢詩。よみかた 唐草・唐詩。【三知識】 唐(618年)から九〇七年まで続いた中国の王朝。その制度・文化の、日本に与えた影響は大きい。

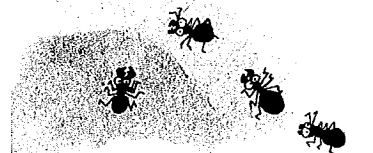
# 唐糖

# 糖

トウ

16画 一 米 米 糖 糖 糖

なりたち 杵(こ)をつく意味の唐と米との会意形声字。米をついて作った「あめ」を表した字。転じて、「甘い物」の称になり、あめには「飴(あめ)」が使われる。



いみじゆくこ ▼あめ。あめの名。有平糖：十七世紀にポルトガルから伝来した棒状のあめ。糖分：甘味のある物。成分としてその中に含まれている糖類の分量。

砂糖：砂状の糖という意味の語。主に甘蔗(かんざ) (正しくはカンシヤで、俗に砂糖キビと呼ぶ) から取れるので蔗糖(さとう)とよばれる。果糖：主に果物に含まれる糖分の一種。麦芽糖：麦芽の中に含まれる糖分。あめの甘味の主な成分。

よみかた 糖衣錠・糖化・糖尿病・製糖・精糖・粗糖・白糖